

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、東京女子医科大学東医療センター外科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 消化管静脈瘤に対する治療成績の検討

[研究対象者] 1980年から2017年の間に、当科で消化管静脈瘤である食道静脈瘤に対して、食道静脈瘤内視鏡的硬化療法 (endoscopic injection sclerotherapy ; EIS) , 胃静脈瘤に対して内視鏡的硬化療法、直腸静脈瘤に対して IVR (Interventional Radiology ; 画像下治療) 療法の治療を受けられた方

[利用している診療情報等の項目] 診療情報等：

性別、年齢、診断名、性別、年齢、診断名、静脈瘤の形態 (F0：治療後に静脈瘤が認められなくなったもの F1：直線的で比較的細い静脈瘤 F2：連珠状の中等度の静脈瘤 F3：結節上あるいは腫瘤状の太い静脈瘤) 止血率, 再出血率, 累積出血率

等

[利用の目的]

食道静脈瘤に対しては食道静脈瘤内視鏡的硬化療法 (endoscopic injection sclerotherapy ; EIS) 、胃静脈瘤に対しては内視鏡的硬化療法、直腸静脈瘤に対しては IVR (Interventional Radiology ; 画像下治療) 療法が有効といわれており、当科でもこれら治療法を行ってきました。今回、これらの治療結果を明らかにすることを目的としています。

(遺伝子解析研究： 無 ) (営利企業との共同： 無 )

[利用期間] 倫理委員会承認後より2023年12月までの間 (予定)

---

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 東京女子医科大学東医療センター外科 教授 塩澤俊一

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 東医療センター外科 島川 武

電話：03-3810-1111 (内線) 4155 (応対可能時間：平日9時～16時)